

都市計画について



沼崎 光芳
みづよし ぬまざき
議員

質問 美浦村（信太地区）と稲敷市（新庁舎建設地区）を結ぶ連絡道路建設がスタートした。連絡道路完成を見据え、村として、今後どのように信太地区（市街化区域）を整備していくのか。

答弁（経済建設部長） 美浦・稲敷連絡道路は、平成 28 年 3 月の完成を目指し、現在整備を進めている。この道路の稲敷側については、稲敷市の新庁舎、そして稲敷広域の新消防署の建設が進んでいる。新庁舎周辺は、稲敷市では市街化調整区域となっており、新庁舎の建設にあわせて、土地利用の

緩和をすることによって進められている。美浦村側は南原地区、約 16 ヘクタールが、市街化区域となっており、連絡道路で結ばれた場合には、美浦村側・南原地区は土地利用の需要というのは高まってくと予想される。そのため対策として、一点目は、まちづくりの基本となるインフラの整備。二点目に公共交通の充実。南原地区の土地利用の活性化を図り、地域活性化につなげ、まちづくりを進めていく。

村政運営について

質問 中島村長も、あと数カ月で 2 期 8 年が過ぎようとしている。これまでの村政運営を自己総括するとともに、今後どのようにそれ

を生かしていくのか。また、来期出馬する意向があるのか。

答弁（村長） 平成 19 年から、美浦村をどのように表に出していくかということを考えてながらやってきた。当時のキャッチフレーズは「いいなあ美浦」というような感じで立ち上げた。そして 2 期目のときに、東日本大震災があり、議会の皆様の了解を得ながら、美浦村は学校の耐震化は 100% になった。また、いろいろな附帯設備も美浦村は整備してきた。おかげで、保育所から幼稚園、小学校、中学校まで、冷暖房も完備をしているという、教育現場だけはよそに負けないものが美浦村の中にでき上がったと思う。

事業がどこまで終わっているか、そういう残る課題もある。課題をクリアしながら、足りない部分は助言をし、もし何かあれば、提

言をいただき、ともに議会と村づくりができれば、いい方向に進む。住民の信任を得られれば、この後もぜひやっていきたいという自分の意志はある。

質問 最後の言葉は、もう一度挑戦するということが私は受け取った。また、メガソーラー事業ということでは約 6 億 5,000 万円かけて今建設中である。村長も決断をして始めたからには、当然見届けていただきたい。

答弁（村長） 平成 27 年 4 月に向けて、村民のトップに立ち、美浦村のかじ取り役をやってまいりたい。議員の皆様いろいろなアドバイスをいただきながら進めていきたいと考えている。